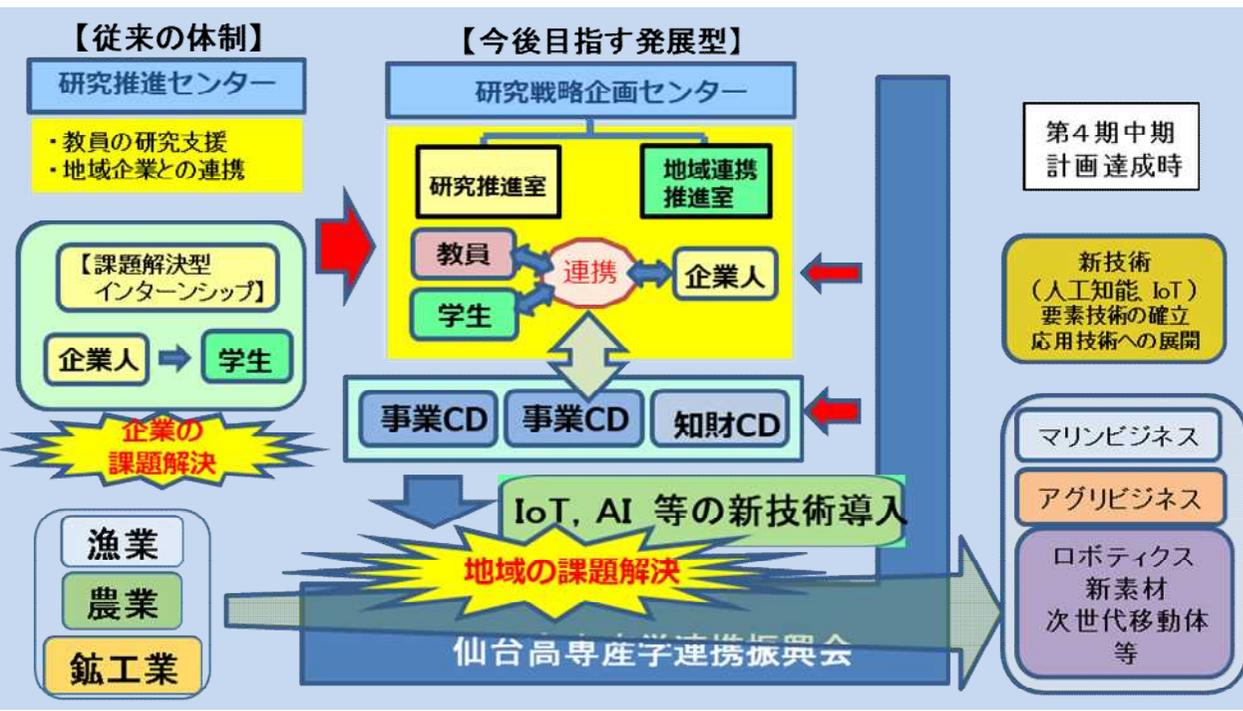


未来産業を展望する高専型地域共創PBLプログラムの開発

「課題解決型インターンシップ」を発展させることにより、学生に高専教員と企業人を加えた三者が連携して、高専の持つ新技術を地域産業に導入し、新産業に転換するための「地域共創PBLプログラム」を開発すること。また、その取り組み成果をパッケージ化し、「地域への貢献の高専モデル」として普及する。

【実施体制】



【工程表】

	アグリビジネス	マリンビジネス	鉱・工業	地域連携推進室
H29.7~				・地域連携推進室の体制確立
H29.10~	・農業用IoTネットワークシステムのオープン・プラットフォームの開発	・レーダ画像の判定・結果検証 ・AIによる物体の自動判定システム ・水中ドローンへのレーダー搭載	・IoTを活用した制御とセンシング ・人工知能を活用した解析・認識・制御等（ロボティクス、新素材、次世代移動体等の分野で検討）	・産学連携フェアみやぎで報告 ・KOSEN4.0外部評価委員会 ・成果集刊行
H30.4~				・PBLプログラム開発体制強化
H30.10~	・IoT計測による圃場モニタリングシステムの検証 ・農業用プラットフォームの実践検証	・海中でのホッキ貝の生息調査 ・データに基づく予測漁法の検証	・医、工学分野での検証 ・非接触給電の実証等	・産学連携フェアみやぎで報告 ・KOSEN4.0外部評価委員会 ・成果集刊行

【成果指標】	28年度	30年度（目標値）
地域共創PBLの課題数（新産業への転換のプロセス）	0件	3件以上
課題解決型インターンシップを受入れる企業数	14社	16社以上



【第4期中期目標期間への展開（見込み）】

地域産業へ新技術（IoT、AI等）を導入した地域の課題解決の試行を実施することにより、地域の産業を新産業に転換することを目指し、地域の課題解決方法をパッケージ化することで、事業を進展・普及させ、第4期中期計画達成時に、地域産業を新産業へ転換する取組が実現する。